

テキスト「いとしま学」を活用した、学習の実施について

1 概要

(1) ねらい

いとしま学とは、テキスト「いとしま学」を活用し、「糸島の魅力を知り、郷土への誇りと愛情をもち、将来の糸島を支える地域の人材」を育てる学習である。

ここでいう糸島の魅力とは、①大陸と融合した歴史・文化②自然と共生する産業③未来を創り出す可能性の3つからとらえている。

(2) 教育課程上の位置づけ

小学校5年生と中学校1年生の総合的な学習の時間を中心に行う。

2 テキスト「いとしま学」とは

(1) 作成経過

① 福岡県広域振興プロジェクトを受ける。

② 糸島の未来の人材を創る「いとしま学」プロジェクト部会により、糸島市各課連携（シティセールス課、文化課、地域振興課等）で作成する。

③ 福岡県・糸島市・糸島市教育委員会にて編集し、糸島地域広域連携プロジェクト推進会議より発行する。

(2) 内容

小学校5年生と中学校1年生の全児童生徒に配布

【小学校版】（全52頁）1500部

○ 昔のくらしの足跡や今も残る町並みなどから糸島のすばらしさを学ぶ内容

○ 市内在住のイラストレーターによるイラストで昔の様子を分かりやすく表現

【中学校版】（全60頁）1500部

○ 歴史・文化・産業・自然などのカテゴリーに分類

○ 糸島で生活したり働いたりしている具体的な人の姿を紹介し、生徒自身の進路設計にも役立てることができるよう工夫

(3) 活用方法

○ 「いとしま学」の学習で使用する。

○ 社会科や道徳など、内容によって関連する教科領域でも活用する。

○ 自宅に持ち帰り、保護者と一緒に読み味わったり探訪したりして活用する。

3 テキストを用いた学習活動

(1) アクティブ・ラーニングへの対応

キーワードは「主体性」と「協働性」。次の3つの活動を取り入れるようにする。

〈選択〉 興味や関心を生かして自分で課題を設定し、内容や方法を選んで調べる活動

〈協働〉 情報を交換・共有し、分担・協力しながら課題を解決する活動

〈創出〉 課題に対する自分なりの考えや実践を創り出す活動

(2) 「未来のいとしま学」チャレンジ教室への発展

これからの糸島を創る可能性をもった題材や人物について、テキストを用いた学習に加えて実際に見学や質問を行う体験的活動へとつなげる。

4 計画

平成28年度…小学校5年生及び中学校1年生に配本する。

各学校において5時間程度の学習計画を検討し、実践する。

「いとしま学研究会」（5/9）において、授業での活用方法を検討する。

実践をもとに教育課程編成を行う。

平成29年度…教育課程に位置づけられた計画を元に実践を深める。